
編集後記：先日アメリカで iPad が発売されました。ラップトップパソコンと多機能携帯電話の間である「電子ブックリーダー」と位置づけられた商品ですが、アメリカで予想以上に売れ過ぎたため、日本での発売が延期されてしまいました。あたらしモノ好きの私は購入を検討していたので、がっかりしているところです。

日本では電子ブックの普及率はまだ低いですが、アメリカでは市場の拡大が著しいそうです。以前はアメリカで飛行機に乗ると、分厚いペーパーバックを持ち込む乗客を数多く見かけましたが、最近は電子機器で読書する人が確実に増えていると感じます。電子書籍が紙媒体を追い越す日はそう遠くないでしょう。

「天気」では、2007年に創刊以来の全記事の電子化

と WEB 公開 (<http://www.metsoc.jp/tenki/>) を始めました。約14000もの記事を収録し、最新号でも冊子とほぼ同じタイミングで読むことができます。電子版では過去の優れた文献から、欲しい記事を手軽に見られるなど、紙媒体に無い利便性があります。開設当初は1日200程度のアクセスしかありませんでしたが、今ではその8倍以上に増加しました。また、WEBシステムのログから、読者がどのような記事を欲しているかが分かります。例えば2009年8月の検索上位には、「エルニーニョ」や「自由研究」が占めており、最近は「乱流」や「かぎろい」といった語が見られます。このような情報を活用し、読者にとってより魅力的な「天気」をお届けできればと思っています。

(上口賢治)